

2020年度事業活動報告～概況

分類	事業名
1. みなと基金の運営	基金の給付
	Syncableの活用開始
2. 若者の「声」を聴く	Blue D-DAY2020開催
	若者ヒアリング
	コロナアンケート実施
	コロナの中の若い声
3. みなとの展開 /灯台守育成	有給インターン開始

成果

- ・若い方とのチャンネルが増え、直接声を聴ける機会が増加した。
- ・ベースとなる活動を軸に据えつつ、委託事業や助成金など、外部との連携により大きな事業の展開を図ることが出来た。
- ・これにより、有給インターンを開始できた。
- ・マンスリークルーを始め、事業を通しての関係者が増え、みなと計画を応援して下さる方が広がった。

分類	事業名
4. 外部連携	EBETSUto(江別市)
	若年アーティストサポート事業(NPO)
5. 広報	三者連携(NPO)
	高校生フィールドワーク 高校生交流会(民間企業)
6. 組織運営	WEBサイト・WEB広告
	役員会・運営委員会

課題

- ・コロナ禍の若者のニーズを聴いたものの、それに対応する即効性が高いプロジェクトを提案できなかつた。
- ・資金と仕事量のバランスを取る過渡期にあり、担い手に対する業務量過多により、事務局力の弱さが露呈した。
- ・事業の進捗遅れや、支援者への連絡遅滞など、関係者に多大なご迷惑をお掛けした。

1. 基金の運営

No	対象/検討日	内容	給付判断
001	佐々木龍成さん	大学入学金	大学生活の発信や、後続のための仕組み作りへの協力を条件に給付。33万円。
002	大学生Aさん	自身の関わるプロジェクトの発展に向けた、対話の研修会参加のための旅費	29,611円
003	大学生Bさん	大学生等との対話の場の研鑽のため、研修会参加のための旅費	19,860円

>給付者その後

- ・佐々木さんには、ゆうゆうさんとのサポート連携チームを作り、1~2か月に1回程度面談をしながら、大学生活を無事に送れるようサポートを続ける。
- ・Aさん及びそのプロジェクトとは、基金給付をきっかけに、若年アーティストサポート事業で連携をすることになった。
- ・Bさんは、もともとの関係性もあり、高校生フィールドワークの受入や、EBETSUtoユースチームへの参加など、よりアクティブなみなと計画との関わりが増えた。

2. 若者の声を聴く～Blue D-DAY2020



Blue D-Day 2020

せっかちサンタの大ふくろ
～叶えたいもの満ちみち～

開催日時 2020.11.08. Sun 10:00 START !!

《 参加費 》

一般 ¥1000
学生 ¥500

《 Blue D-Day とは？ 》

大学生や高校生や新社会人などの若い世代が独自に作り出すユースセッション＝イベント。自分のやりたいを形にするだけでなく空気感や地域、人を掛け合わせた独自の空間。

オンオフ

★ ほっと
ひと休み
大切なモノは足もとに。

【悩んでる人、一休みしたい人】
人生グラフや未来の自分へ手紙
を書いたり、自分の大事な何か
気づくそんな時間が彩られます。

MATCH
VS
BISTROHISA
RICEBURGER

【ライスバーガーコンテスト！！】
可愛井キッチンカーのメニュー
ライスバーガーのレシピコンテスト
開催！選ばれた料理はそのまま商
品化決定！オフライン参加は試
食兼審査員となります！！

オンオフ

アートホリック
～熱狂的ななにかについて～

【自分のに好きなものについて語り
合う！】熱狂的な好きの世界を覗
きに行こう！※ものや写真など共
有できるものがあれば持参可です。

アイスブレイク
大交換会

【イベントで使えるアイスブレイク】
みなさんか知ってるアイスブレイ
ク！あなたの気に入りのアイス
ブレイクを大交換しよう！！

オンオフ

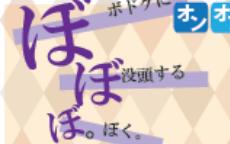
アーバンジング
って何？

【疲れたら立ち寄ってのんびりし
よう】人工芝とテントを用意し
て、ちょっとしたアウトドア気
分でひととき。イベントの合間
や休憩にご利用ください♪



集団に必要なアレコレ！

集団の中で大切なコトは？自分
は集団に対して何をすればいい
んだろう？他の人の価値観を聞
きづらい話題を深堀り！集団を
深く知るゲストも呼んでます。



ボドゲに没頭する

ぼく。ぼく。

ボドゲの数が200を超
えた川上さんがボドゲの魅力を
語ります。話題のボドゲからみ
んながよく知るあのボドゲなど
ボドゲを通して様々語ります！

《 NEW 》

オンライン配信

会場に来れないオンラインのみな
さんや企画をみたいみなさんに向
けて発信します！

グッズが手に入る！

参加者全員に、ちょっと早い
「サンタの小ふくろ」プレゼント！

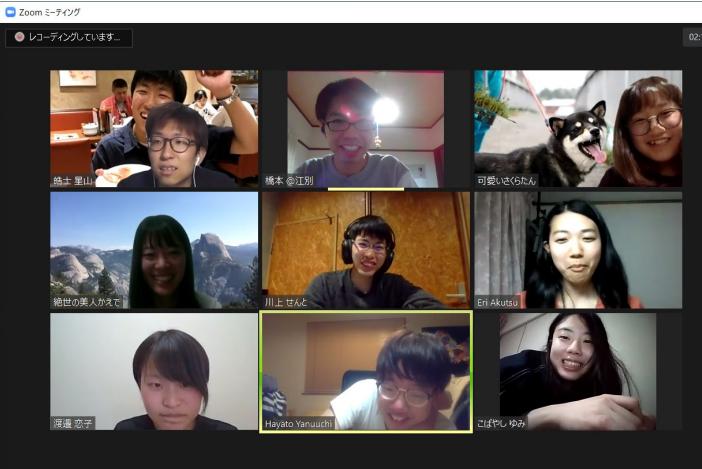
《 タイムテーブル 》

	会館	ゲストハウス	ギャラリー	江別港 2F
10:00~11:30	オープニング& アイスブレイク大交換会			↑ ↑
11:40~13:10	アートホリック ～熱狂的ななにか について～	ぼぼぼ。 川上ボドゲ話& 試遊会		ふ つか
13:10~14:00		～お昼休憩～		ふ つか
14:00~15:30	C-origin はやとコーヒーについて	ピストロビサ ライスバーガー	ファンデイジング って何？	ふ つか
15:50~17:20	ほっとひと休み 大切なモノは足元に。	深堀れ！集団に 必要なアレコレ！		休憩所
17:30~18:30		～クロージング～		↓ ↓
19:00~		～懇親会～		↓

BDDも3年目になりました。コロナ
という逆風に吹かれながらも新しい
仲間とここまでこれました。BDDの
持つ魅力のひとつはここに集う人た
ちであります。イベントにも人に
も出会いにきてください。みなさんとお会いできるのを楽しみにしています。

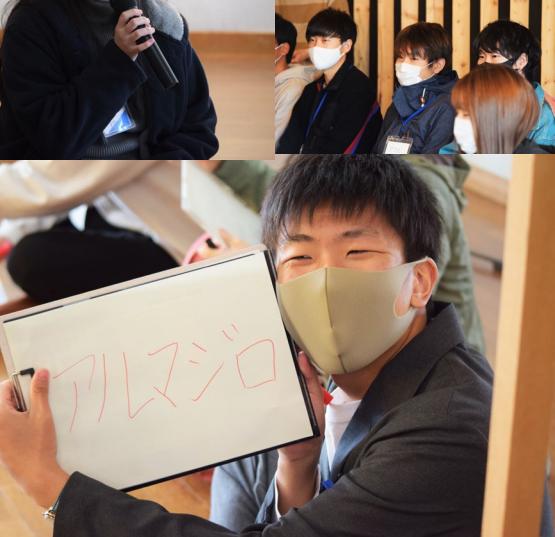
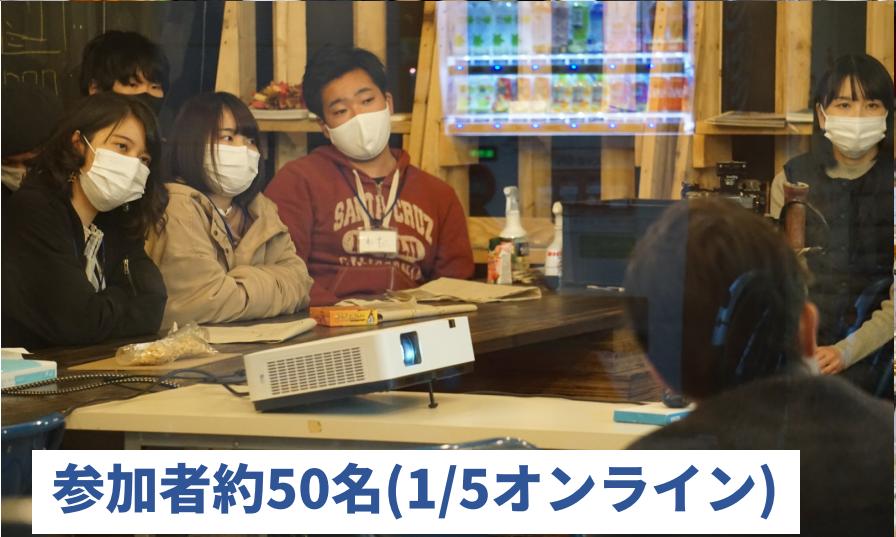
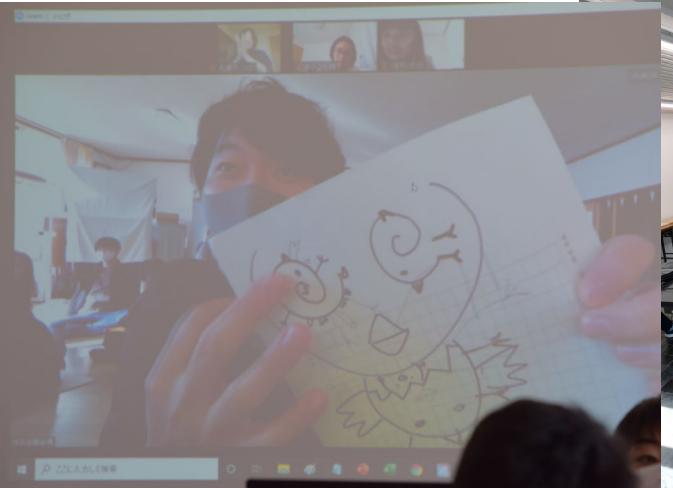


ALL STAFF



今年の特徴

- ・準備期間を1年と長めにした。
- ・昨年の参加者などを招き、
バックオフィスチームを作った。
- ・打合せはほぼオンラインで、
スタッフ同士も当日まで直接会
わない人も居た。
- チーム感の構築が思うように
進まなかった。
- ・オンラインとの併用だったが、
オンラインだから関われる人も
いた。スタッフも同様に。



参加者約50名(1/5オンライン)

Blue D-DAY2020

2. 若者の声を聞く～アンケート

コロナ禍における若者へのアンケート

期間：2020年4月13～19日

手法：オンラインで回答

回答：114名(10代32名、20代68名、30代13名)

仮説

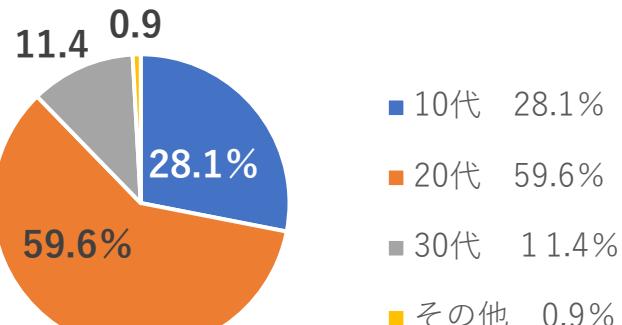
アルバイトが無くなるなど、経済的な困窮に陥る若者が増えてい
るはず。裏付けを取って、基金による支援を呼びかけようか？



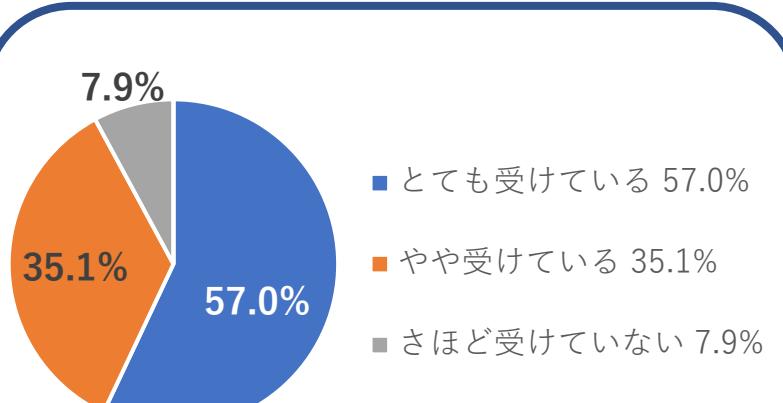
コロナ緊急アンケートの実施

- ・期間：2020年4月13日～27日時点（継続中）
- ・手法：関係者を通じたSNS、メール等による募集
- ・回答数：114

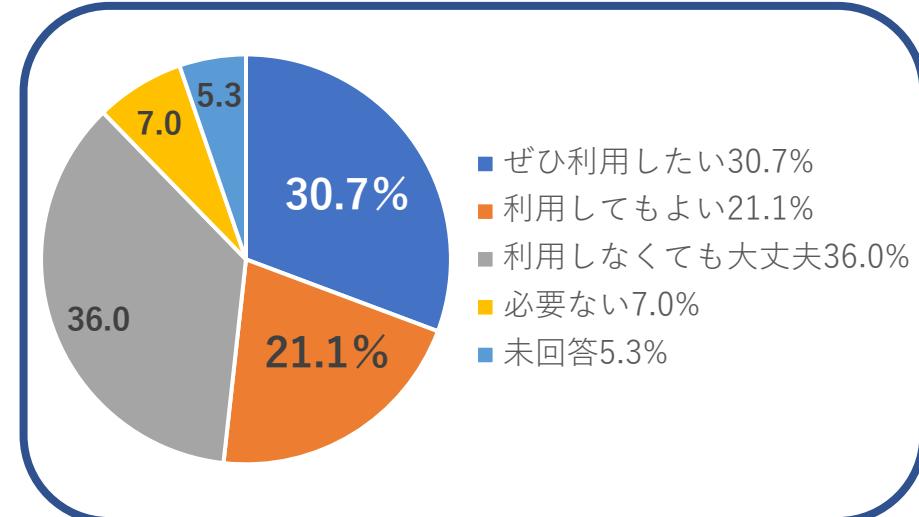
年代



影響の有無



サポートの必要性



でも、みなと計画が大事にしたいのは統計情報よりも……

自由記述1：どのような影響を受けていますか

自由記述2：必要なサポートはなんですか



2. 若者の声を聞く～インタビュー

コロナの中の若い声(仮)

明治安田生命「私の地元応援基金」よりご寄付を頂きました。
コロナによる影響への対応として使用することが条件であり、
今まで出来なかった「声」を直接届けるプロジェクトにした。

企画概要

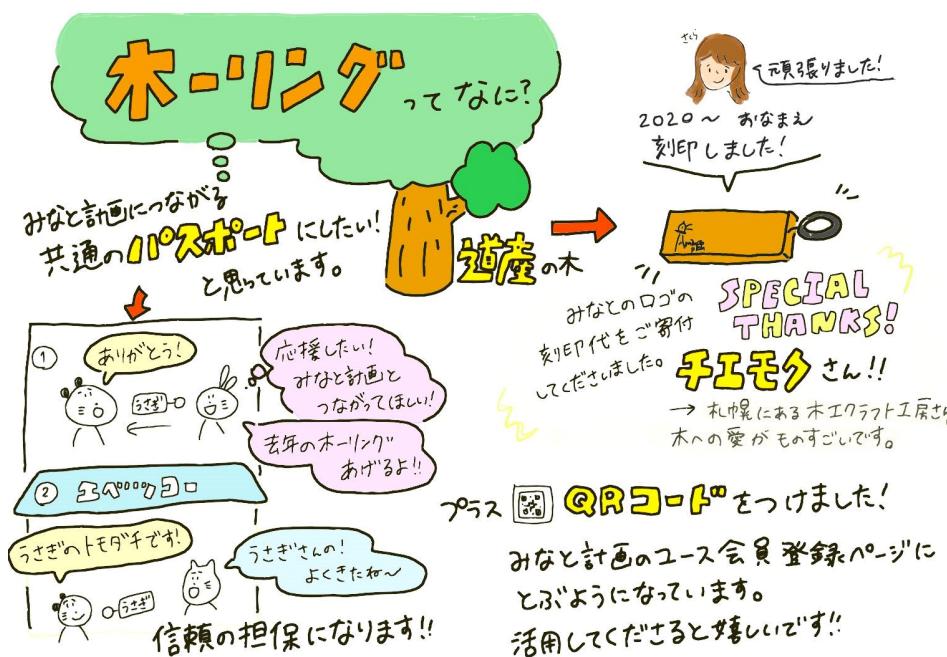
- ①所属や居住地の異なる20代の若者10名にインタビュー。
- ②共通のヒアリング項目を見ながら、一問一答形式で回答。
- ③コロナ対策も兼ね、 インタビュアーからの質問は無し。



3. みなとの展開/灯台守の育成～有給インターンシップ

大活躍の半年

- ①マンスリークルーレターの作成
- ②EBETSU事業ユースチームコーディネーター
- ③役員会等の議事録作成
- ④キーリングの文字彫
- ⑤高校生フィールドワークの受入



集中力が
持続しないのが難点
(誰かに似ている)

4. 外部連携～EBETSUto(江別市)

(1)概要

- ・江別市で学ぶ若者が、在学中に江別との関わりを持つるようにする。
- ・卒業などで市外に旅立った後も江別との関係を持続させられるようにする。
- ・人生の転機などで、また江別に戻ろう、頼ろうと思える関係性を構築する。

(2)位置付け

- ・若者が、居住するまちとのお互いの信頼性による関係性を作ることは、みなと計画の目的となっている。
- ・みなと計画でを目指す「江別モデル」の構築に直結するものであり、この事業を契機として他でも応用できるモデルとする。

EBETSU to

江別となら

なんだってできる。

迷ってもダサくても失敗しても、
楽しかったらなんでもいいと思う。
心の底からやりたいことを、江別で

↑ WEB・SNS



←PR動画

統一ロゴ・キービジュアル→

EBETSU to

江別とならなんだってできる。

- 私たちについて About
- スタッフブログ Blog
- 江別で働く人 Working
- Ebetsu to掲示板 Discussion
- ムービー Movie
- Appインストール App



メンバー



江別となら、なんだってできる

迷ってもダサくても失敗しても、楽しかったらしいと思う。
心の底からやりたいことを、江別で。

ひとりじゃ叶えられないこともあるし
誰かと一緒にほうが面白い。

その誰かは
家族や周りの友達じゃなくたっていい。

このマチには自分のやりたいことを応援してくれたり
同じ想いをもっている人、場所がきっとある。

じぶんらしいと思える最大限の表現を、江別で。

EBETSU toは江別をフィールドに
大学生のやってみたいを実現していくプロジェクトです。



EBETSU to

江別市×大学生プロジェクト



@ebetsuto

<https://ebetsuto.com/>



大学横断ユースチーム



オンライン企業交流会

アンケート調査
<http://bit.ly/3t316gs>



大学内PRブースの設置



4. 外部連携～若年アーティストサポート事業(NPO)

項目	内容
①若年アーティストオンライン相談窓口の開設	孤立する若年アーティストの相談窓口を設け、相談員がニーズに応じたサポートを行う
②若年アーティストのニーズを把握する意見交換の開催	若年アーティストの現状を把握する意見交換の場を設け、ニーズを把握する
③福祉事業者と連携したアートに関わる仕事を創出	創出に向けた福祉事業者、若年アーティストの意見交換の場の構築含む
④若年アーティストの作品を通じた収入モデルの構築	若年アーティストと地域の店舗等をつなぎ、自身の作品を通じて収入につなげられる仕組みを作る

4. 外部連携～若年アーティストサポート事業(NPO)

福祉事業者×若年アーティスト

- ・1回目：11月07日 美術コースの現役大学生のヒアリングと福祉事業者の事業紹介
- ・2回目：12月19日 卒業後キュレーターとして働く現場の声
- ・3回目：02月17日 卒業生との対談を交えながら、若年アーティストへの提案方法の検討

今後～福祉事業者側からアルバイト等の雇用条件を提示し、アーティストとしての働き方に興味を持つ応募者に対して試用する。



4. 外部連携～若年アーティストサポート事業(NPO)

相談窓口「Ports」の運営



チラシ



WEBサイト



ロゴ

相談員



相談員：下沢杏奈

1997年石川県生まれ。函館市にて「地域と暮らし、地域を舞台に、あるがままの自分と向き合う場」として人生の学び舎「荘」という学生シェアハウスを運営し、多くの人の心の中のやもやと対話を繰り返してきた。イベントや会議でグラフィックレコーダーとして場を共創する傍ら、地域と教育を繋ぐコーディネーターとしても活動する。

プロデザイナーに監修をしてもらい、若者にデザインをしてもらう方法



最小化

表示

退出

14:49

2021/01/18

4. 外部連携～高校生フィールドワーク(民間企業)

- ・マイナビ「locus」を活用した、高校生とのマッチングシステム。

- ・時間：3時間/回

- ・人数：5～6名/回

- ・実績：石狩南、大麻、藤女子、南陵、札幌龍谷学園

※フィールドワーク先は、高校生が選ぶのではなく、事前のアンケートに基づき、AIがマッチングを行う。

- ・方法を模索しながら、最新版では、みなと計画に関わる大学生数名が高校生の「話したい」「聴きたい」に応えるスタイルになっている。

- ・3時間で出来ることには限りもあり、長時間スタイルの提案も行えるようにしたい。

5. 広報～WEBサイト/SNS



みなと計画

みなと計画
@ユーザーネームを作成・コミュニティ

+ ボタンを追加

宣伝する

ホーム イベント レビュー その他

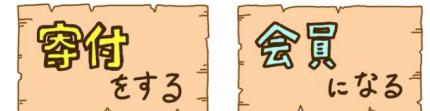
プロフィールを編集

minato_plan
@MinatoPlan

2018年5月からTwitterを利用しています

109 フォロー中 93 フォロワー

Facebook：いいね！255件



取り留めのない話をただただ聞いてくれたり、
やりたいなと小さく呟いたことを現実にしてくれたりもします。
それはとてつもないことだと私は思っています。

みなと計画ユース会員（大学4年生）



5分で分かる「みなと計画」の全て

投資は若者に。リターンは「未来」。

生まれ育つ環境による若者の「無意識のあきらめ」を無くす。
全ての若者が未来に希望を持てる社会を実現するために。

WEBサイト

※WEB広告マーケティングの進行に
合わせて、ランディングページを
一部修正。

※今後は、テストページを数種作り、
反応を確かめていく。

5. 広報～WEBマーケティング広告

- ・「ワンチーム」と連携した試行
- ・バナーや試行用WEBページ準備中
- ・4月実施か

「ペライチ×テックスープ・ジャパン NPO支援プログラム」リリースのお知らせ

株式会社「ペライチ」（本社：東京都渋谷区、代表取締役：橋田一秀）は、日本NPOセンターが運営する非営利団体向けソフトウェア提供プラットフォーム『テックスープ・ジャパン（<https://www.techsoupjapan.org>）』にて、ペライチ有料プランの割引提供プログラム「ペライチ×テックスープ・ジャパン NPO支援プログラム」をリリースしたことをお知らせいたします。



今後の進め方

- ①ストーリーを3つぐらい作って、テストする。
- ②その中で反応の良いところを探す。全部だめなら練り直し。



6. 組織運営～役員会・運営委員会

幅広いメンバーで構成される二つの会議が、座礁しないよう舵取りをする。

会議以外の場面でも、細かい相談や緊急時対応も行う。

開催回数及び主な内容

○役員会：5回

- ・コロナ禍における事業計画の見直し。
- ・臨時総会の開催について など

○運営委員会：8回

- ・基金給付検討
- ・総会回数の考え方について など